（別記）

令和８年度山添村地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本村の水田は、国営農地総合開発事業、県営中山間地域総合整備事業（広域連携型）等により、圃場整備を進めてきたものの、依然として谷間における狭小な棚田が多く、大型農機具の導入や省力化が阻まれ集約的な大規模経営が難しい。また、排水条件の悪さから収益力の高い野菜等の栽培に適さず、水稲以外の作付けが困難な状況にある。在住民の高齢化の進行と人口の減少による担い手や農業後継者不足、更に獣害による作物被害に起因する営農意欲の減退が耕地の荒廃、環境の悪化といった深刻な課題となっている。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

適地適作を基本とし、現在本村水田で作付けが行われている特産品（個票に記載の作物）を中心として、今後も主食用米からの転換を推進していく。また、狭小な棚田は、排水条件も悪いため、水稲以外の作物の栽培が難しい上、主食用米の需要は年々減少傾向にあり、価格も低下している。そのため、水田の有効活用として国が推奨し、需要があり、農機具や農薬などの必要な生産資材が主食用米と変わらず作付けしやすい飼料用米の作付けを推進していく。また、水はけが良く、水稲の栽培に向かない農地については、麦や大豆、野菜の作付けを推奨し、水田の有効的な利用を図っていく。高い収益が見込める作物の組み合わせによる二毛作を推奨し、水田のより有効的な活用を目標としていく。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

本村内の水田について、水稲作を組み入れず恒常的に畑作物栽培形態をとる耕地を含め、今後地域計画の見直しなどの話し合いの場も活用し、今ある農地を今後どのようにして守っていくのかを各地区で話し合い考えていく。水はけが悪い水田においては従来通り水稲を作付けし、水がたまりにくい水田においては、畑作を推奨していく。また、水田の有効活用のため、ブロックローテーション体系等の構築を検討する。

現在、一部地域で小麦の栽培が行われており、その影響により、他の地区でも小麦の栽培に興味を示す農業者が現れている。水稲よりも栽培の手間が少なく、省力化が見込まれ、かつ需要も増加している小麦を、本村でも今後積極的に推奨し、導入していく。また、１つの地区の集落営農組織が法人化され、今後、経営規模の拡大や、農地の集約化を目指すことから、将来的には収益力の高い「畑地化」も視野に入れ検討をしていく。

４　作物ごとの取組方針等

村内の約３１２ha（不作付地を含む）の水田について、適地適作を基本として、産地交付金（詳細は「５．活用方法の明細」を参照）を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

（１）主食用米

消費者ニーズにあった良食味米として近年推進してきた「コシヒカリ、ひとめぼれ」といった品種は、現在本村においてほぼ全域的に定着しつつある。今後は、需要に応じた米生産を行うとともに持続的再生産を維持して、「山間のおいしい米」“山添米”のブランド化も視野に入れた地域特産米の確立、売れる米作りの推進を

図る。

（２）酒造好適米

コメ新市場開拓等促進事業を活用し、実需者との契約にもとづく作付けを推進する。

（３）備蓄米

本年の作付けの予定はなし。

（４）非主食用米

ア　飼料用米

需要に応じた米生産、それに伴う畑作物への転作が推進される中で、従来のとおり生産者にとっても取組み易く比較的負担の少ない水稲の作付を継続する場合においては、産地交付金の活用し、需要がある飼料用米への転換を推進し生産出荷拡大を図っていく。

イ　米粉用米

実需者の需要があれば、生産の推進を図る。

ウ　新市場開拓用米

本年の作付け予定はなし。

エ　WCS 用稲

本年の作付け予定はなし。

オ　加工用米

実需者の需要があれば応じて推進を図る

（５）麦、大豆、飼料作物

麦については、契約・出荷先の主体を農協として今後作付け拡大を行っていく。

大豆については、農協への出荷や地域の直売所での販売のほか、手作りみそ等の加工原料用に作付け拡大を行っていく。

（６）そば、なたね

実需者の需要があれば、推進を図る。

（７）地力増進作物

農業生産力の持続的な維持向上に向けて、「土づくり」を行うため、少ない労働力で農地の地力を増進させる地力増進作物の作付けの推進を図る。

（８）高収益作物

特産品として産地化を図る品目（ダリア（球根)、カボチャ、ホウレンソウ、太ネギ、レンコン、その他切り花（蓮)、みょうが、片平あかね）を転換作物の重点品目として位置づけるとともに収益力の高い「別添資料１」の作物を振興品目として拡大する。

５　作物ごとの作付予定面積等　～　８　産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※　農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

別紙

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位:ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	125		125		125	
備蓄米						
飼料用米	1.5		1.5		0.5	
米粉用米						
新市場開拓用米						
WCS用稲						
加工用米						
麦	5.4		5	0.5	5	0.5
大豆	2.8		2.8		2.9	
飼料作物						
・子実用とうもろこし						
そば	0.3		0.2		0	
なたね						
地力増進作物						
高収益作物	27.4		28		28.4	
・野菜	14.2		17.3		17.4	
・片平あかね（野菜の内数）	0.3		0.3		0.5	
・花き・花木	6.9		2.8		2.9	
・果樹	4.5		4.7		4.7	
・その他の高収益作物	1.5		2.9		2.9	
その他	0.4		0.4		0.4	
・茶	0.4		0.4		0.4	
畑地化						

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標		
				前年度（実績）	目標値
1	カボチャ、ほうれん草、太ネギ、レンコン、ダリア（球根）、その他切り花（蓮）、みょうが、片平あかね	特産品への産地化助成	作付面積の拡大	（令和７年度） 199a	（令和８年度） 270a
2	カボチャ、ほうれん草、太ネギ、レンコン、ダリア（球根）、その他切り花（蓮）、みょうが、片平あかね	特産品への産地化に向けた不作付地転換規模拡大加算	作付面積の拡大	（令和７年度） 0a	（令和８年度） 25a
3	別添資料１の作物（基幹）	作付推進助成（高収益作物）	作付面積の拡大	（令和７年度） 45a	（令和８年度） 70a

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：奈良県

協議会名：山添村地域農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	特産品への産地化助成	1	9,000	ダリア（球根）、カボチャ、ホウレンソウ、太ネギ、レンコン、その他切り花（蓮）、みょうが、片平あかね、そば	出荷・販売を行う対象作物の作付面積に応じて支援。
2	特産品への産地化に向けた不作付地転換規模拡大加算	1	6,000	ダリア（球根）、カボチャ、ホウレンソウ、太ネギ、レンコン、その他切り花（蓮）、みょうが、片平あかね	前年度の不作付地への当年度の作付けに対して支援。
3	作付推進助成（高収益作物）	1	7,000	高収益作物（個票1の対象作物除く）	出荷・販売を行う対象作物の作付面積に応じて支援。

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「○○○（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「○○○（耕畜連携）」と記入してください。ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「○○○（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

（別添資料1）

分類名		作物名
高収益作物	野菜	おくら、ブロッコリー、しゅんぎく（きくな）、かぶ、みょうが、やまのいも（やまといも）、きのこ類、アスパラガス、甘しょ（食用品種）、ばれいしょ（食用品種）、未成熟とうもろこし（スィートコーン）、青さや、いんげん、えだまめ、しょうが、さといも、にんじん、だいこん、レタス、たまねぎ、ねぎ、はくさい、キャベツ、メロン、すいか、いちご、ピーマン、なす、トマト、きゅうり、あさつき、うど、うまいな、うり、からしな、かんぴょう、クウシンサイ、クレソン、くわい、コウタイサイ、こごみ、ごま、ザーサイ、サニーレタス、さやえんどう、サラダな、ししとう、しそ、ジネンジョ、しゃくしな、しろうり、ずいき、せり、セロリ、タアサイ、たかな、チンゲンサイ、つるむらさき、とうがん、にがうり（ゴーヤ）、にら、のざわな、ハーブ、ぱせり、パプリカ、はやとうり、ビタミンな、ひのな、ひらまめ、ひろしまな、ふき、ふきのとう、プチベール、べんりな、まくわうり、まこもたけ、みずな、みつば、ミニトマト、みぶな、モロヘイヤ、ヤーコン、ゆりね、よもぎ、らっきょ、ニンニク、ラディッシュ、リーフレタス、れんざん、わけぎ、わさび、さつまいも、その他野菜
	果樹	ブルーベリー、キウイフルーツ、もも、うめ、びわ、かき、くり、いちじく、ゆず、日本なし、りんご、あけび、ぎんなん、プルーン、やまもも、その他果樹
	花卉・花木	きく、鉢花、花木、その他花卉
	その他農産物	アズキ、エンドウ、インゲン、ソラマメ、種苗類、薬用作物・香料作物・黒大豆